

ご挨拶

震災が起こったあの日から八年が経過しました。

あの日から、市民の皆さん、企業の皆さん、市の職員等、本市に係る多くの方が、大切な人の死、避難所での共同生活、被災した住まいや仕事場の解体・撤去、そしてその再建など、これまでに経験したことのないさまざまな場面に向き合いました。

私たちは、この震災で多くの尊い命と長い時間をかけて築いてきたまちを失いました。しかし、国内外からの温かいご支援もいただき、さまざまな困難を乗り越えてくることができました。この震災を経て、多くの方が亡くなられた一方で残された者の使命として、また国内外から多くの支援をいただき被災したまちの再建を目指す者の使命として、この震災の対応で明らかになった課題と対応を経て得た教訓を、後世へ伝えていくことが重要であると考えています。

この記録集は、未曾有の大災害に向き合った市民の皆さん、企業の皆さん、市の職員等による文章と、これに加え災害対応にあたりご支援をいただいた全国の防災関係機関や自治体等の方々からの文章とで構成されています。

掲載する文章は、全て実名によるものとさせていただいております。さまざまな現場で災害に向き合うなかで、各々がどのように行動を取り、何を感じ、何を後世へ伝えたいか、各々が責任をも持って、この震災で起こったことを残し伝えていきたいと考えております。

この記録集が、手に取っていただいた方々の、災害への備えの一助となれば幸いです。

平成三十一年三月
気仙沼市長 菅原茂